

第2期本宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要】

本宮市第2次総合計画
(2019~2028年)

前期基本計画 (2019~2023年)

【将来像】

「笑顔」あふれる

「人」と「地域」が輝くまち もとみや

【重点プロジェクト】

- ①次世代を育てる
- ②暮らしの安心を守る
- ③賑わいを生み出す

アクションプラン
として位置づけ

第2期本宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2020年~2023年)

【基本目標】

- I もとみやの魅力を高め 住みたくなるまちをつくる
- II 市民の希望をかなえ 安心で豊かな暮らしを実現する
- III 絆で結び 活気と笑顔あふれる 住みよいまちをつくる

基本的視点

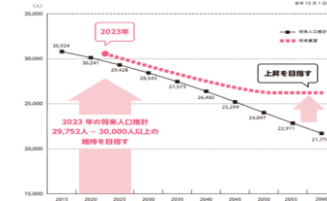
- (1)高いポテンシャルを活かした定住・移住の促進
- (2)市民のライフステージを意識した希望の実現
- (3)賑わいのある持続可能な「ひと」と「地域」の創造

新たな視点

- ①民間と協働する
- ②人材を育て活かす
- ③新しい時代の流れを力にする
- ④地方へのひと・資金の流れを強化する
- ⑤誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ⑥地域経営の視点で取り組む

本宮市人口ビジョン (2060年を視野)

- ・人口の現状分析
 - ・市民との認識の共有
 - ・人口の将来展望
- 総合計画の将来人口推計と整合
将来人口推計を上回るよう上昇を目指す



I もとみやの魅力を高め 住みたくなるまちをつくる

【数値目標】

- 社会動態人口：108人→250人以上（累計）
- 魅力度(地域ブランド調査)：872位→750位以上

(1)定住・移住の促進

- ①住まいの支援及び情報発信 ②住まいの受け皿づくり
- ③U I J ターン等の促進

(2)定住・移住に不可欠な「しごと」の創出

- ①就職・創業等の支援 ②仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 ③企業誘致の推進 ④既存企業間等の連携及び支援

(3)定住を支える「ひと・もの」の交流の推進

- ①観光資源の活用 ②持続可能な農村の振興
- ③既存特産品の活用と新たな商品開発
- ④地域内経済循環の仕組みの構築

II 市民の希望をかなえ 安心で豊かな暮らしを実現する

【数値目標】

- 合計特殊出生率：1.42→1.70以上
- 出生数：208人→1,230人以上
- 要介護認定割合：16.2%→18.0%以下

(1)ライフステージを通した切れ目のない支援

- ①結婚・出産・子育て支援 ②高齢者支援
- ③障がい者支援 ④人材の掘り起こしや育成、活躍の支援

(2)全市民が健やかに安心して暮らせるまちづくり

- ①スポーツ・心と体の健康づくり ②医療体制の充実と支援
- ③防災・減災の機能強化による安全・安心な生活環境の整備

III 絆で結び 活気と笑顔あふれる 住みよいまちをつくる

【数値目標】

- 元気もとみやトライアングルの利用者数：272,048人→290,000人以上
- 滞在人口率：1.03(平日),0.99(休日) →上昇を目指す

(1)ひと、地域、都市間等のつながりの強化

- ①地域を支えるひとづくりの推進 ②関係人口の創出・拡大
- ③高等学校・大学等における人材育成、
- ④地域コミュニティ活性化の推進、⑤都市間等交流の推進

(2)利便性の高い持続可能なまちづくり

- ①コンパクトなまちを活かした環境の整備
- ②地域間をつなぎ生活を支える公共交通網の最適化と持続可能な運行 ③既存ストックのマネジメント

横断的取組み

SDGsの推進



Society5.0の実現
に向けた取組み

